

Q 草の根大使の活動で印象に残ったことはありますか?

A 2 タイで草の根無償の取り組みを、実際にこの目で見ました。

ヒデ タイでは、バンコクから車で2時間ほどのところにあるサラブリー県バーンラムソムブン学校や、ミャンマーからの移民労働者の子どもたちを支援するNGO、障がい者の就労を支援するNGOなどを訪問しました。

ワッキー 学校は、老朽化した校舎を草の根無償で建て替えたところ。それまでは屋外や床で勉強をしていたそうです。一緒に給食を食べたり、サッカーをしたり。僕たちが校舎を建てたわけではないのに、ものすごく歓迎してくれて驚きました。

ヒデ バンコク市内のNGO「アジア太平洋障害者センター」は障がい者の自立を支援していて、日本の製パンメーカー、タイ・ヤマザキ社の工場に働いている人たちが作ったパンを販売している「60 Plus Bakery」にも行きました。とてもこだわりを持って作っていて、みんな楽しそうに働いている姿が印象的でした。

ワッキー NGO「労働者の権利推進ネットワーク財団」では、10年間で移民労働者の子どもたちのうち1万3,000人の教育サポートなどの支援をしたと聞きました。いろいろな分野の細かいニーズに応え、必要なところに必要な支援をしている、それが草の根無償だということが実感できました。

ヒデ 東京にいるとわかりにくいですが、世界にはまだまだ教育を受けたくても受けられなかったり、休みなく働かされたりすることがある状況を知り、ショックの連続でした。でも、草の根無償が、そういう状況の改善に少なからず役立っている——これはもっと日本人たちに伝えていかなければと思いました。



草の根無償広報動画「草の根大使、タイへ行く」←配信中



上・中：バーンラムソムブン学校を訪問し、生徒たちとサッカー交流を行った。下：ミャンマーからの移民を支援するNGO「労働者の権利推進ネットワーク財団」を訪問。

Q 草の根大使としての経験をどう伝えていきますか?



A 3

僕たちは“笑いとしゃべり”のプロ。その力で草の根無償の活動を伝えたい。

ヒデ テレビのトーク番組などにはもってこいのテーマ。みんな耳を傾けてくれると思います。こうした活動を伝えることは、どうしても難しくかったり、堅苦しくなりがちですが、僕たちはお笑いのスキルがある。それを活かして、やわらかくわかりやすく広報していきたい。

ワッキー 仕事の現場だけでなく、こんな活動をしてきたとか、こんなことを考えているということを、個人の立場でもインスタグラムやツイッターなどを通して発信しています。

ヒデ 僕は、まずは身近なところからとって、タイから帰ってそこで感じたこと

を家で子どもたちに話しました。それが、子どもたちから友達に伝わり、その家族に伝わるかもしれません。そういう広がりが生まれたらうれしい。芸人の後輩たちにも話していますが、みんな興味を持ってくれますよ。お金や人が大きく動く事業ではないけれど、まさに雑草のようにたくましく、現地に根づく活動だから、みんなの心に響くのだと思います。

ワッキー お笑い界での僕たちの立ち位置に似ているよね(笑)。お笑いとお笑いのギャップのあるものを、僕たちがつないでいきます。



バンコク市内の障がい者支援施設と「60 Plus Bakery」を訪問。上：草の根無償で整備したベーカリーの移動販売車。下：同支援施設にて、チョコレート作りの練習をするスタッフたち。

「草の根・人間の安全保障無償資金協力」とは…

- 政府開発援助 (ODA) による開発途上国の経済社会発展を目的として現地のNGOや地方公共団体などを通じて実施する日本独自の支援制度。
- 比較的小規模な事業に資金を供与するもの (1件あたりの供与限度額:原則1,000万円以下) で、近年は年間約90億円の実績がある。
- 対象は141か国・1地域で、累計約3万件を実施。
- 小学校の教室などの小規模な施設建設、機材供与などを行う。また、日本の性能のよい中古消防車・救急車などを無償で供与する輸送費支援、対地雷関連活動の支援も行っている。
- 「はやく」「一人ひとりに」「きめ細かに」支援を届け、誰一人として取り残されることなく、安心して生きられる世界の実現を目指す。



「草の根無償」イメージキャラクター「くさのネコ」。2017年に誕生。手に草を持ち、世界中の人々に笑顔を届ける。

Q 1 「草の根大使」の役割はありますか?

A 1

「草の根・人間の安全保障無償資金協力」(以下、草の根無償)の広報活動です。

ヒデ 草の根無償は、途上国のNGOや地方公共団体などのニーズに合わせた支援をする日本独自の支援制度で、30年前から行われています。

ワッキー これまでに141か国・1地域で学校や病院を建てたり、井戸を掘ったりと、地域に密着した“草の根レベル”での多様なサポートを行っているんです。

ヒデ 僕たちもそうだけど、そういう活動を知らない人がまだまだ多い。そんな草の根無償の認知度を上げるために活動するのが大使の役目です。でも、最初にこの話をいただいたときは“ドッキリ”だと思ったよね。委嘱状を外務省を訪れて、やっと「本当なんだ」と実感しました。

ワッキー 僕は、それでもまだドッキリかとも思っていて、視察でタイを訪問してやっと「ああ、大使に任命されたんだ」と信じられました。僕は芸人になる前からタイが大好きで、何度も訪れていました。国が発展していき、日本の企業も進出していることは感じていましたが、草の根無償のような活動があることはほとんど知りませんでした。今回は大役をいただいたので、しっかり学び、僕たちができるやり方で伝えていきたいと思いました。

ヒデ 人が生きていくために必要なものが不足している国が、世界にはまだまだあることもあらためて知りました。これまでは関心はあっても、自分から発信しませんでした。大使という役割をいただいたので、お笑いの芸人として、また子どもを持つ親として、いろいろな発信をしていきたいと思いました。

ワッキー 人が生きていくために必要なものが不足している国が、世界にはまだまだあることもあらためて知りました。これまでは関心はあっても、自分から発信しませんでした。大使という役割をいただいたので、お笑いの芸人として、また子どもを持つ親として、いろいろな発信をしていきたいと思いました。

ヒデ 人が生きていくために必要なものが不足している国が、世界にはまだまだあることもあらためて知りました。これまでは関心はあっても、自分から発信しませんでした。大使という役割をいただいたので、お笑いの芸人として、また子どもを持つ親として、いろいろな発信をしていきたいと思いました。

ベナルティ ●1994年結成。吉本興業所属のお笑いコンビ。二人は高校のサッカー部の先輩・後輩で、全国高等学校サッカー選手権やインターハイに出るほどの実力だった。現在、ライブやテレビ、ラジオなどで活躍。



2018年5月30日、東京・外務省で「草の根大使」の委嘱式が行われた。委嘱状が中根一幸外務副大臣(当時)からベナルティに交付された。

ヒデ 人が生きていくために必要なものが不足している国が、世界にはまだまだあることもあらためて知りました。これまでは関心はあっても、自分から発信しませんでした。大使という役割をいただいたので、お笑いの芸人として、また子どもを持つ親として、いろいろな発信をしていきたいと思いました。

ワッキー 人が生きていくために必要なものが不足している国が、世界にはまだまだあることもあらためて知りました。これまでは関心はあっても、自分から発信しませんでした。大使という役割をいただいたので、お笑いの芸人として、また子どもを持つ親として、いろいろな発信をしていきたいと思いました。

ヒデ 人が生きていくために必要なものが不足している国が、世界にはまだまだあることもあらためて知りました。これまでは関心はあっても、自分から発信しませんでした。大使という役割をいただいたので、お笑いの芸人として、また子どもを持つ親として、いろいろな発信をしていきたいと思いました。

ワッキー 人が生きていくために必要なものが不足している国が、世界にはまだまだあることもあらためて知りました。これまでは関心はあっても、自分から発信しませんでした。大使という役割をいただいたので、お笑いの芸人として、また子どもを持つ親として、いろいろな発信をしていきたいと思いました。

ヒデ 人が生きていくために必要なものが不足している国が、世界にはまだまだあることもあらためて知りました。これまでは関心はあっても、自分から発信しませんでした。大使という役割をいただいたので、お笑いの芸人として、また子どもを持つ親として、いろいろな発信をしていきたいと思いました。

教えて! 外務省! 知っておきたい国際協力③

今年30周年を迎えた「草の根・人間の安全保障無償資金協力」。それを記念し、「草の根大使」に就任したお笑いコンビ・ベナルティに、協力の内容や大使の役割を聞きました。

今月のテーマ

30周年 草の根・人間の安全保障無償資金協力

